

今月のFPニュース

「生命保険加入の優先順位」

生命保険加入をご自分から積極的に考えられるケースは、ご自身が生命保険会社等に直接かかわっておられない限り、ほとんどないでしょう。その為、保険の外交員の方に勧められると、何気なしに付き合いで加入したということになり、何のビジョンもない加入になってしまいます。まずはご自身で加入されている保険契約の保険証券を取出して確認し(現状分析)、ご自身としてどのようなイメージで整理していくか目標を定めて、見直し等を行うことが必要です。その上で一度にすべてを満たす契約を行うことは、通常困難ですので、優先順位を決めて徐々に整備していくことが大切です。

< 個人の場合 >

終身保険を幹にする。* 災害割増等を付保

医療保険で枝葉をつける。* 先進医療を付保

学資保険による教育資金の準備

リタイヤ後の年金の準備

年齢等によって順位は変動します。



< 法人の場合 >

掛捨ての定期保険・傷害保険で短期的なリスクの回避

長期的な保険で生存退職金を確保しつつ、いざという時に備える。

先進医療保険で企業の大切な方を守る。福利厚生プランの実施。

企業の状況によって、選択が異なります。

これはあくまでもオーソドックスな例ですが、ご自身がイメージして、目的意識を持って加入されることが大切です。